

# 平成28年度公共事業再評価諮問地区一覧表

地域交流部港湾課

# 平成28年度公共事業再評価諮問地区一覧表

No.	事業名	事業箇所 (地区名)	事業年度	進捗率 (H22) (H27)	対応方針
1	廃棄物海面処分場整備事業	伊万里港 (浦ノ崎地区)	(前回:S57~H27) (今回:S57~H43)	(H22:90.6%) (H27:90.6%)	継続

## 廃棄物海面処分場整備事業のB/Cの考え方

### 費用対効果 B/C

○総便益(B)： 浚渫土砂処分によりもたらされる総便益額

(内訳)

- ・浦ノ崎地区廃棄物処理用地の有無の差により生じる浚渫土砂処分コスト削減による便益

○総費用(C)： 護岸整備及び維持管理に要する総費用

(内訳)

- ・事業費
- ・維持管理費

○費用便益比： 総便益(B) / 総費用(C)

## 費用便益分析におけるマニュアル等

### 需要推計

航路・泊地の維持浚渫等で発生する浚渫土砂量を発生地別(伊万里港、唐津港)に設定。

- 昭和57年から平成27年：実績値
- 平成28年から平成48年：受入計画量

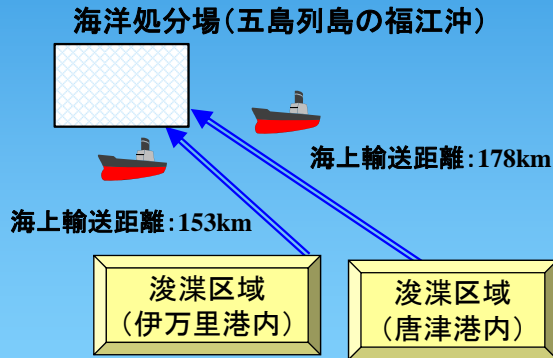
### 費用便益分析マニュアル

- 現在価値算出のための社会的割引率：4%
- 基準年次：評価時点
- 便益、費用の検討年数：建設期間+廃棄物等の受入完了まで(昭和57年～平成48年)

# 便益の発生について

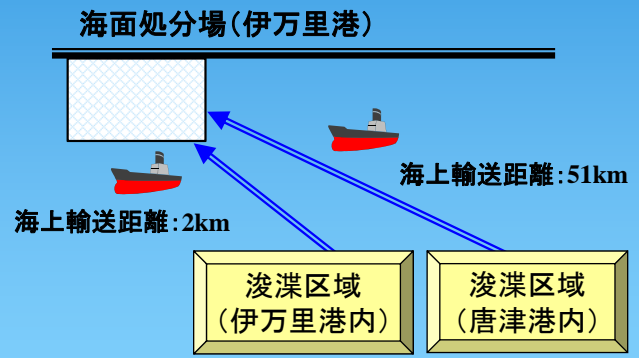
最終埋立処分を要する廃棄物等のうち、発生地の内陸での処分が困難なものを港湾区域で適正に受入れ処分するため、廃棄物海面処分場の整備を行う。

## Without時: 海洋処分場



処分コスト約**13.9**億円/年(平均)

## With時: 海面処分場



処分コスト約**1.9**億円/年(平均)

処分コスト削減額約**12.0**億円/年(平均)